



川越市議会議員



2016年3月10日
号外 川越版
民進党プレス民進黨編集部
〒350-8601
川越市元町1-3-1
川越市役所 6F
民進党議員団内

山木綾子の議会ウォッチング N0102

やまきあやこ

事務所 350-1137 自宅 350-1137
川越市砂新田4-4-6 サングリーン高階 504 川越市砂新田5-27-9
TEL・FAX 049-249-3306 TEL/FAX 049-242-3543
e-mail a-yamaki.11-26@nifty.com
URL <http://www.yamaki-ayako.com>

3月議会報告

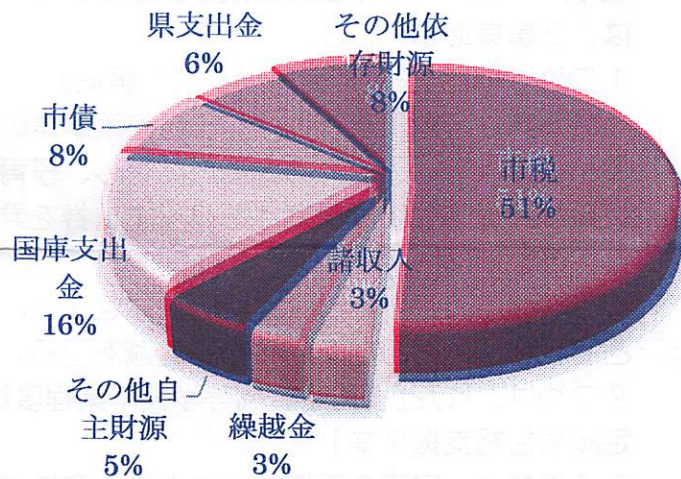
29年度予算の規模

一般会計当初予算は昨年とほぼ同額の、(1,190億6,000万円)規模の予算です

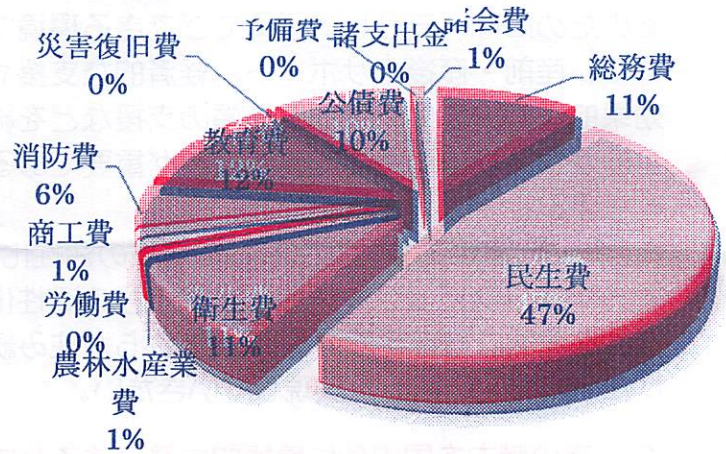
一般会計 1,109億9,000万円
特別会計 881億4,048万円
合計 1,991億3,048万円

一般会計歳入歳出予算

【歳入】



【歳出】



市税	565億	51%
諸収入	34億	3%
繰越金	33億	3%
その他自主財源	53億	5%
国庫支出金	176億	16%
市債	97億	8%
県支出金	66億	6%
その他依存財源	86億	8%

総務費	107億	1%	消防費	50億	5%
民生費	480億	43%	教育費	125億	11%
衛生費	116億	10%	災害復旧費	0億	0%
労働費	3億	0%	公債費	103億	9%
農林水産業費	6億	1%	諸支出金	1億	0%
商工費	15億	1%	予備費	1億	0%
土木費	96億	9%	諸会費	7億	1%

山木綾子の代表質疑

3月議会は「予算議会」とも呼ばれ、平成29年度の予算が提案された。

又、今議会は1月に市長選を終え、三期目の当選を果たした、川合義明市長が、当選後初めての予算編成をした予算が提案された。市長選に際して、市民の皆様にお約束をした事が、どのように予算に反映されたかが問われる議会でもある。

市長の『市制方針』並びに教育委員会の『教育行政方針』に対して、民進党を代表して、代表質疑を行った。

『市制方針』

1. 「誰もが住み続けたいまち 川越」の実現について、市長はどのように考えているのか。

(市長答弁)

答弁 現在、本市の人口は、微増ながら増加している状況にあるが、数年後には減少に転じることが推計され、また、一層の高齢化の進展が見込まれている。

今後さらにこの状況が進行すると、生産年齢人口が減少し、本市の経済や財政などさまざまな面に影響が及ぶことが、懸念される。

こうした現状を踏まえ、今後の市政運営を進めていくうえにおいては、少子化対策は避けては通れない重要な施策として認識しているが、一朝一夕に解決できる課題ではない。

長期的な視点に立ち、取り組んでいくことが必要であると考えている。

そのためには、安心して子育てができる環境づくり、産前・産後のサポート、経済的な支援や効果的な施設整備、さらに結婚の支援などを総合的かつ継続的に進めていくことが重要であると考えます。

さらには、本市の強みを生かした産業の活性化、観光やオリンピックを契機とするまちの活性化などを着実に推進することで、「だれもが住み続けたいまち 川越」を実現していきたい。

2. 市の魅力を国内外に積極的に発信するとあるが、具体的な施策はどのようなものか。

答弁 本市の知名度を高め、首都圏からの観光客を更に呼び込むための方策として、ラジオCM放送の活用やインターネット上でのウェブ広告の掲載がある。

また、知名度を高めるだけでなく、本市の魅力ある地域資源を、より具体的に知っていただく

ために、フィルムコミッション事業を実施していきたい。

フィルムコミッション事業では、市内の魅力ある地域資源を発掘し、映像による情報発信を積極的にを行い、その映像の中で魅力あるロケ地をデータとしてまとめ、インターネット上で閲覧できるようにすることで、映画関係者だけでなく、国内外の観光客等にもご覧いただける環境を整備していく。

さらに、海外からのインバウンドをより一層増加させるため、市長等が、自ら海外に出向き、本市が有する歴史的・文化的遺産、優れた地域特性などの魅力をより多くの外国の方々に伝えるためのトップセールスも展開する。

3. 家庭の経済状況などの養育環境に配慮した取組とは主にどのようなことか。(質)

答弁 こども未来部の新規事業としましては、2事業ある。

1つめは、「多子世帯応援クーポン事業」

この事業は、埼玉県が行う少子化対策事業の一環として、第3子以降の出生児に対し、子育て支援サービス等に利用できるクーポン券を発行する。

本市では県のクーポンに金額を上乗せすることで、多子世帯の経済的負担の軽減を図る。

2つめは、「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」

この事業は、家庭の事情などにより、高校に進学していない、または退学した、ひとり親家庭の親及び、その児童が、よりよい条件での就職や転職を目指す場合に、高卒認定試験合格のために受講する、講座費用の一部を支給することで、学び直しを支援する。

次に、事業費を増額した主な事業は、2事業。

1つめは「第三子及び多胎児産前産後ヘルパー

派遣事業」で、前年と比較して大幅に利用が増え、今後も利用の増加が見込まれることから事業費を増額した。

2つめは、「ひとり親家庭等学習支援事業」で、今年度は新規事業として7月に開始した。平成29年度は年度当初から事業を進めていくことから事業費を増額した。

4. 農業ふれあいセンターを活用したプロジェクトの検討状況について(質)

答弁 川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた「蔵 in ガルテン川越」として、農業ふれあいセンターを中心に、伊佐沼や田園などの周辺の自然的景観や農業とのふれあいをコンセプトとしたグリーンツーリズムを推進する。

具体的施策としては、グリーンツーリズム拠点の整備と伊佐沼公園など周辺施設との連携という2つの柱。本プロジェクトの推進により、市民の農業への理解を深め、市に対する愛着につながるとともに、本市の新たな魅力の発掘により、都心からのアクセス性を活かした交流人口の増加につなげる。

次に、本プロジェクトの検討状況についてですが、農業ふれあいセンター及び周辺地域について、平成31年度までにグリーンツーリズムの拠点としての機能が発揮できるよう、平成28年度に、事業推進のためのコンセプト、テーマ等の基本的な方針をまとめた計画の策定を進めている。来年度以降については、拠点施設の整備や周辺施設との連携について、具体的な検討を進めていく予定となっている。

5. 地域包括ケアシステムの構築の進捗状況は

答弁 本市では、「すこやかプラン・川越川越市高齢者保健福祉計画・第6期川越市介護保険事業計画」に、地域包括ケアシステムの構築を位置づけ、着実に各事業を推進しているところでございます。

具体的には、例えば介護予防については、地

域で介護予防を推進するためのボランティアである介護予防サポーターの養成、いもっこ体操教室の開催とその後の自主的活動への支援を行っている。

医療と介護の連携につきましては、川越市医師会とともに、市内の医療、介護等の関係団体とのネットワークの構築や、資質向上のための取組を進めている。

また、生活支援につきましては、生活支援コーディネーターを配置し、自治会役員、民生委員、介護保険事業所職員等を対象とした「学習会」や、市民を対象に支え合い助け合いのまちづくりについて考える「地域の支え合いフォーラム」の開催など、地域の居場所づくりや、助け合いの仕組

みづくりに向けての取組を始めた。

その他、認知症の初期の段階から、専門職がチームを組んで訪問等を行う「認知症初期集中支援チーム」の設置、「オレンジカフェ」の開催など、認知症の方や、ご家族を支えるための取組を推進しております。

今後につきましても、地域包括ケアシステムの構築に向け、各事業に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

6. 地域会議の設立状況と活動状況は(質)

7. 老朽化の進む社会資本に対して、川越市におけるこれまでの取組と今後について(質)

8. 今後の人口減少の推移と市立小中学校のクラス数の推移(質)

9. 川越では働きたい、起業したいという若者に向けて、具体的に仕事の創出についてどう考えるか。(質)

10. 今年度の市制方針では、女性に対する施策が消えているが、女性への施策は充実したと考えているのか？また、来年度の新たな取り組みはあるのか。(質)

『市制方針』の残りの部分と『教育行政方針』については山木綾子のホームページに掲載いたします。

URL <http://www.yamaki-ayako.com>



川越市議会議員

山木綾子の議会報告会&

平成29年

フラダンスの集い

3/19

入場無料

南文化会館

ジョイフル

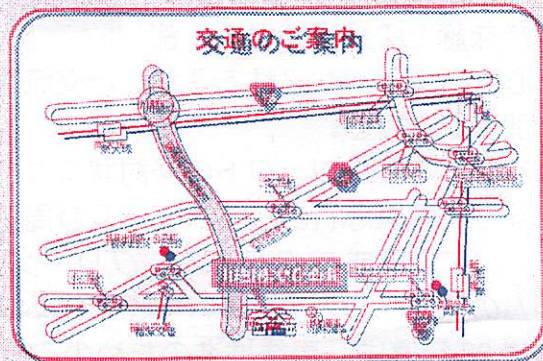
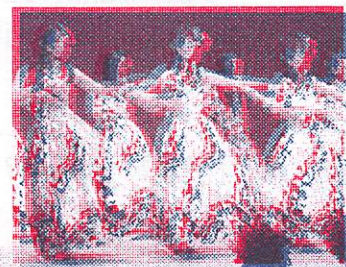


◆ 開 場 12:30

◆ 開 演 13:00~16:00

出演グループ

- アロハ フラフラミンゴ・・・kブメハナ オルオル カワヒネ タミエ (市川多美枝)
- プア カーネーション・・・原田 トミ
- アロハ・・・小坂 松枝
- ナーマモ オレファマカノエ・・・ウイラニ ヨウコ (柴田 陽子)
- オルオル・・・ラウナ プーバイ (宮辺 英子)
- レイアロハ・・・ラウナ プーバイ (宮辺 英子)
- リコレファ・・・ラウナ プーバイ (宮辺 英子)
- ティアレ タヒチ・・・ラウナ プーバイ (宮辺 英子)



- 東武東上線新河津駅から徒歩15分
- 西武新河津線南大塚駅より徒歩15分
- 川越シャトルバスが深夜「南文化会館行き」川越駅西口5分徒歩より9分
- 会館前駐車場完備200台(無料)

☆☆☆☆☆☆☆☆ 平成29年度小学校空調設備設置予定校 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

- 川越第一小学校
 - 武蔵野小学校
 - 月越小学校
 - 芳野小学校
 - 古谷小学校
 - 牛子小学校
 - 高階小学校
 - 高階北小学校
 - 大東東小学校
 - 大東西小学校
 - 霞ヶ関小学校
 - 霞ヶ関北小学校
 - 霞ヶ関東小学校
 - 川越西小学校
 - 広谷小学校
- 以上の15校が予定されています。なお、中央小学校・高階南小学校・霞ヶ関西小学校につきまは、平成28年度に整備済みです。

中学校については平成31年度から随時設置の予定です。